

様式第 6 号(第 2 条関係)

委員会等の会議録

1 会議名	第 2 回愛南町行政改革推進委員会	
2 議題	(1) 行政改革推進委員会提案について (2) 行政改革・改善職員提案並びに行政改革推進委員会提案について (3) その他	
3 開催日時	令和 7 年 8 月 7 日(火) 10 時 00 分から 11 時 45 分まで	
4 開催場所	愛南町役場 3 階 議員協議会室	
5 傍聴者数	0 人	
出席者		
6 委員氏名	増田 和恵、稲田 博、内田 留美、徳川 義孝、高川 文江、 狩野 瑞穂	
7 担当所属	所属名	総務課
	担当職員 (職・氏名)	課長 濱 哲也 主幹 小松 一恵
8 その他の 出席職員	所属名	
	出席職員 (職・氏名)	
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
小松主幹	ただ今から、第2回愛南町行政改革推進委員会を開会します。 開会に当たりまして、増田委員長から開会の挨拶を申し上げます。
増田委員長	(開会挨拶)
小松主幹	それでは、議事に入ります。ここからの進行は、増田委員長にお願いします。
増田委員長	それでは、議事に入ります。 (1) 行政改革推進委員提案について審議を行います。 委員提案4、「移住促進による人口減少対策」について、高川委員、補足説明をお願いします。
高川委員	皆さん危惧されていると思うのですが、老人が多くて、若者が少ないという状況がずっと続いています。 その中で、移住者を募るなどいろいろな試みをされているなと思います。広報あいなんなどを見ると、移住して良かったというような感想もたくさん載っていて、とても頑張っていると思うのですが、もう少し底上げをするためにはどうしたら良いだろうかと考えてみました。 最近、ホテルもできたので、例えば若者や、中高校生の修学旅行向けに、ミカン栽培の経験や魚の餌やり体験ができたり、ホテルとタイアップして割引になったりというようなことを、全国の中学生等の修学旅行を企画している方にアピールしたら良いのではないのでしょうか。もしかしたらその子供たちの心に残って、大人になったとき、愛南町に行ってみたい、住んでみたいというような、ずっと応援して支えてもらえる、憧れてくれるような町になるのではないだろうかと、提案しました。以上です。
増田委員長	補足説明がありました。何か御意見、御質問はありませんか。
稲田委員	町内で活動していただくことで、リピート率も上がると思います。また来てもらいたいという印象や、別の方の「こういう経験をして良かった。」という一言があるだけでも、かなり違ってくると思いますので、こういった対応については良いと思い

発言者	発言内容
内田委員	ます。 私も賛成です。 愛南町は海や景色もきれいだから、そういうところを発信して魚釣大会と食事をセットにしたり、魚をさばいて料理をして食べたりしてはどうでしょうか。東京の方が来られて、魚をさばいて刺身にした際、大人の方が初めて魚をさばいたと喜んでいました。そういう経験をセットにすると、集客できて良いのではないかと思います。
徳川委員	私も賛成です。 できることをいろいろやってみることで、未来につながると思うので、やってみたら良いと思いました。
狩野委員	例えば、民宿を経営される方が、修学旅行ほどの大人数ではないけど、都会の中学生や高校生を受け入れて、漁業体験や農業体験をさせたりするというのは聞いたことがあります。 ただ規模的には、高川委員が言われたようなホテルを貸し切ったり施設を使ったりという大規模なものではなくて、民宿を経営されている方が何件か頼まれてしたという形で、どのような効果をもたらしているのか、教えていただけるとありがたいです。 この提案については賛成ですが、その方法について、もう少し規模を大きくするのか、改善しながら続けていくのかというところがポイントなのではないかなと思います。以上です。
増田委員長	以上で委員提案4を終わります。 次に委員提案5、「災害対策の充実」について、高川委員、補足説明をお願いします。
高川委員	私自身いろいろな方に取材してこの提案をしたのですが、実はほぼ充実してきているような認識もあります。間違っていたら申し訳ないのですが、保管場所や費用面でも難しいことがあるかもしれませんが、提案しました。
増田委員長	このように提案していただけることで、考える機会にもなるので良いと思います。

発言者	発言内容
内田委員	この提案について委員にもお話を聞きましょうか。何か御意見などはないですか。 防災士も取っている方は結構多いのではないですか。でも何か活動することもないのですよね。 だからもう少し防災士として勉強して、いろいろしていけば良いのではないかと思います。 そして、避難時に荷物を持っていくということは大変だと思います。一時避難場所は、近くの少し上がった所にあり、その後、私たちの地区は保健センターへ避難することになっています。そういう場所に、各地区から飲物や食料品などを事前に保管できたら避難時に身軽に行けると思います。 防災倉庫の中もきれいにしないといけません。先日見に行ったらひどい状態でした。月に1回は掃除、点検、交換などをした方が良いと思います。 その避難場所に、ある程度の飲み水などを地区で置かせてもらってはどうか。いろいろなものを少しずつ地区で購入して持っていき、何年かごとに取り替えるようにすれば良いと思います。 避難するにも、簡単な薬や貴重品などを持ってけるようにすれば良いと思うし、そういう広報をしてはどうかと思います。もちろん地区で話し合っただけのことだと思います。
狩野委員	高知県三原村では、年に1回備蓄食品を入れ替えるときに、備蓄の食品を使って、地域の皆で防災食を作って炊き出しの訓練も兼ねるそうです。 そういうシステムを作っていけば良いし、している地域もあればしていない地域もあります。 地域によって防災に対する取組に格差があるという見方はあります。私は一本松に住んでいますが、一本松地域で防災訓練をすると聞いたことがないです。 組織が分からないので、区長か組長か分かりませんが、避難訓練をするように言われているとは思いますが。 おそらく、山で津波もないから避難訓練をしなくても大丈夫という意識があるのかなと思うのですが、すごく格差を感じます。 私は久良の出身ですが、久良地区は、年に1回は必ず避難訓

発言者	発言内容
内田委員	練していて、山の方へ走るとか、小学校の校庭に避難しています。なので、あまり格差がないような取組をしていただいたら良いと思います。 それから、備蓄している食品をうまく活用するようなシステム作りができれば良いと日頃から思っています。 私もすぐ目の前が海です。でも、訓練していないので、先日区長と、備蓄なりそういうこともしないといけないと話しました。一応防災士の資格は取ったので、もっと今から頑張っていこうと話して、防災倉庫も、ちょうど期限内で県からの補助を使って一つ建ててもらいました。 備蓄やテントを入れるのですが、汚いので驚きました。なので、もっと掃除をしてきちんとしようと話しました。
増田委員長	一つ聞きたいのですが、この前津波注意報が出たときに、避難してくださいという防災無線も結構流れたと思うのですが、子供連れの方や、移住してきた人のように地元のことがあまり分からない人などは、逃げると言っても上に逃げるのか(分からない)、倉庫はあるけど、炎天下の中そこにずっといるのは大変だということで、「こぶたの広場」に遊びに来ていた人たちには、広場は4時まで開いているから、ずっとここにいるように伝えて、お弁当を買って1日過ごしました。それぞれの地区で本当に温度差があると、どこまでのことができているのかなというのも、すごく気になりました。避難した親子が、自分たちしか避難してなかった。防災無線はあったけどどうなのかという感じでした。津波が来るはずないと思っているようで、例えば吉田町は、保育所から皆が高台に避難したというニュースを見て、この差はどうなのかなと思いました。 避難してくださいと言われて、避難する場所というのは、例えば保健センターのロビーが涼しいなどあると思うのですが、住民はどこに行けば良いのか迷うのではないかと思います。 ほかに御意見がなければ、以上で、委員提案5を終わります。
増田委員長	次に、委員提案6「休耕田、休耕地を増やさない取組」について、33ページを御覧ください。 この提案について、補足説明をお願いします。

発言者	発言内容
狩野委員	車で走る範囲だけでも休耕田や休耕地が増えていて、すごく心が痛いです。 兼業の方がほとんどで、農家専業では難しいと思います。農業だけで収入を得るのは難しいので、皆さん兼業農家をされているのだと思います。高齢になったり、亡くなったりすると、若い方は、仕事もあるので農業だけに絞れない、兼業でも農業をすることが難しいという現状なのだと思います。 人に頼んでいる所もありますが、道路に接していない所、狭い所、入り組んだ所は受け手ありません。日本各地同じような状況が進んでいることや、米不足のこともあるので、私はあまり農業のことに詳しくないのですが、提案をしました。 成功しているのは一本松の「ポプラ」で、一本松は広いので農地を借り上げて作業してもらっています。 三間町なども、広くて道路も平地で、宇和島市にも近いということで、生産性を上げて成功している会社もあり、水田地域を守っているところはあります。しかし、愛南町ではなかなかうまくいっていないので、何とかならないかと思って提案しました。 広くても、お年寄りだと人に頼んで耕作してもらおうとか、そういうこともできなくなっている状況です。 広い田に草がそのままだと周りの方に迷惑を掛けるからと草を刈ったら、草刈りだけで 10 万円掛かったという方もいました。 何か良い方法について、町で少し支援していただいたり、指導していただいたり、何とかならないかなと日頃から心を痛めていました。 30 年も前に坪崎さんという方が農業指導員をされていた時の資料を読みましたが、一人でするのは大変で、経験不足だと失敗する、機械化すると労力が少なくなるが機械を買うお金がない、機械を買っても支払えるだけの収入がないということでした。 兼業農家共同でオペレーターを雇って 1 年間計画的に作業したり、機械類も共同で購入して、そのオペレーターの人に専属でももらったりというような方法で成功しているところもあったと聞いています。そういう方法も取り入れていただいたら少しはうまくいくのではないかなと思ってこの提案をしまし

発言者	発言内容
増田委員長	た。以上です。
稲田委員	それではこの提案について御意見がありましたらお願いします。 一次産業のことはあまり詳しくないのですが、先日お客様がドローンを買うということで、いろいろ見積りを見て、どのような作業ができるのかをヒアリングしました。最近のドローンは、モニターを見ながら、生育の度合いも全部ＡＩが判別して、肥料の散布割合も生育が良いエリアには少なく、生育が思わしくないところには多くといったコントロールもできるような機械があつて、価格は 150 万円ということでした。 その方は、一部費用を頂いて、近隣の方の分も引き受けることで機械の費用の支払えるという話だったのですが、通常は機械の費用が高過ぎて、資本があるところでないと続けていけない状況があると思います。 コンバインが壊れたらもう自分の代で終わりなどという話も聞きます。 事業を継続することが難しい時代になっていると思います。やり方次第で儲けている農業生産法人もあれば、資本が少なく経営も厳しいところもあります。両極端になってきているので、共同でいろいろなことができるこういった組織を立ち上げてやれば、安価な価格帯で利用でき、生産性も向上することが見込めます。そういった組織の構築は大事だと認識はしているのですが、どこがするのかということは、専門性が必要かと思うしますので、法的なことも含めていろいろな角度で検討する必要があるかと思います。 町の職員でそういったことについて見識がある方のお知恵を借りながら、進めていく方が良いのかなという気はします。 以上です。
徳川委員	こういうことについてニュースや特集番組などで見ますが、やはり若い人、後継者的な人たちが出てこないと感じています。今お話を伺っても実際そうだし、米を作っていたけど高齢になってやめて、田んぼはそのままになっているというような方も知っています。基本はやはり、民間の人がするということが一番良いことだと思いますが、なかなか難しいという

発言者	発言内容
	ことは感じていて、そうすると何かそういう部署があって、町職員かおそらく地域おこし協力隊のことをおっしゃっているのかなと思います。 広報なども見ると、地域おこしの方で、期間を終えても取り組んでいたことを継続して行う方もいるようなので、もしかすると後継者的な問題でいうと、地域おこしとして来た方で、ここで米を作ってみようと思われる方がいれば、後継者になり得るのかなと思ったりもしました。南宇和高校に農業科があるし、こちらで農業をしようと考えて、若い人が出てきてきてくれないと、農業はどんどん先細りになっていくだろうという不安があるので、先ほどの体験などもありましたが、いろいろなことを絡めて、若い人に、農業も良いのではないかなと思っていただけるような機会を作っていただけると良いのかなと思います。 農業はやはりお金が掛かるということもあるので、できれば町にも関わってもらい、民間だけではなくて町も推進できるような形があれば良いのかなという気はします。 以上です。 増田委員長 以上で、(1)委員提案についての審議を終わります。 次に、(2)行政改革改善職員提案並びに行政改革推進提案について、これらの意見を提言するのもしないのかについての審議を行います。 職員提案4「開庁時間に対する短縮について」事務局説明をお願いします。
小松主幹	(担当課からの検討事項等説明)
増田委員長	事務局から説明ありました。 本当に慎重な対応が必要だということです。職員提案4について、前回の意見、担当課の検討状況を踏まえて、何か御意見御質問はありませんか。
委員一同	(意見なし)
増田委員長	では職員提案4について、実施すべきとして提言するかどうかを決めたいと思います。

発言者	発言内容
徳川委員	これは内部でしていただくことだと思うので提言はしなくても良いと思うのですが、参考意見的に言っても良いのかなという気はします。 前回いろいろ話している中で、訴訟があったという話がありましたが、例えば工業生産的な感じで、ベルトコンベヤが動き出したら、その間ずっと仕事だという方もいると思いますが、そうではない方もいらっしゃるって、そうすると5分前に就業準備を整えるための時間があるとしても、仕事の中で取るティーブレイクなども考えれば、ある意味相殺されるような問題だと思うので、それは各部署でそれぞれ検討していただければ良いのかなと思います。
稲田委員	朝の15分程度の間に来庁者が何人あるかということ、そうないと思うので、当番制もあると、例えば今週は2、3人が10分早く来て10分早く帰るようなこともできると思いますが、なかなか厳しいと思います。
濱総務課長	朝礼に限って話をすると、役場の開庁時間は8時30分です。例えば総務課のことを申し上げると、8時20分ぐらいに朝礼が始まって、日程や申し送りをします。一方で、建設課や水産課というところは、8時30分に町民が来る可能性が極めて低いです。 稲田委員がおっしゃった8時30分までに町民が来るというのは、1階の町民課、保健福祉課、高齢者支援課、税務課などで、この辺りは8時30分の開庁とともに、町民の方々が来る可能性があるので、8時30分までに朝礼をしている課が多いのではないかと推測します。 8時30分のチャイムが鳴ってから朝礼を始めるところもありますし、中には朝礼をせずに、終礼として17時15分以降に翌日の予定を伝えるという手法も以前はありました。 規則で決められている開庁時間8時30分と閉庁時間17時15分というものを動かすことはできないので、開庁時間の前に朝礼をするか、8時30分から朝礼をして、お客さんが来たらそちらを優先して対応しているというのが現状です。
稲田委員	これは、サービス残業的なことなのでしょうか。例えば、町

発言者	発言内容
	の行事など、職員がボランティアで参加するケースもあると思うのですが、そういうことについて職員から何か意見が出ることはないのですか。 極端に言うと、業務なのかボランティアなのか問われることがよくあります。ですから、例えば祭りで踊ると、踊る時間や練習時間に時間外手当を出す企業もあるようです。 そうすると、この延長で多分いろいろなことに波及されるので、今のところ運用で対応された方が良いかと思います。
増田委員長	では、こちらは提言しないということで決定します。
委員一同	はい。
増田委員長	次に、職員提案6「ふるさと納税を活用した高等教育に対する助成事業」について、事務局説明をお願いします。
小松主幹	(担当課からの検討事項等説明)
増田委員長	事務局から説明ありました。 職員提案6について、前回の意見、担当課の検討状況を踏まえて、何か御意見御質問はありませんか。
委員一同	(意見なし)
増田委員長	それでは、この提案を実施すべきものとして提言した方が良いという方は挙手をお願いします。
委員一同	(挙手)
増田委員長	全員ですね。 では、職員提案6は学校教育課、企画財政課政策推進室の意見を踏まえ実施すべきとして提言することに決定します。
増田委員長	次に、委員提案1「自然の家や大学の部活サークルの合宿地を目的とした誘致」について、事務局説明をお願いします。
小松主幹	(担当課からの検討事項等説明)

発言者	発言内容
増田委員長	事務局から説明ありました。 委員提案1について、前回の意見、担当課からの検討状況を踏まえて、何か御意見御質問はありませんか。
狩野委員	魚神山小学校も改築してすごくきれいになった段階で閉校になり、内海中学校も耐震工事もしているのに小学校として使わなくなったので、もう少し早めの対策というか、もっと活用できるのではないのでしょうか。 書いていることはすごく良いことですし、26件も活用していて頑張っていると思いますが、学校の施設については、活用は不十分なのではないかなと個人的には思います。
小松主幹	内海中学校につきましては保留状態になっていますので、どう活用されるのかは今後の検討課題になっています。 これまでの廃校活用の実績ですが、菊川小学校の校舎全体を社協として使っています。 長月小学校は、協定を結んで災害時に愛南警察署が利用するようになっています。 東海小学校は保護司会に貸与しています。 深浦小学校は愛南幼稚園が利用し、満倉小学校は子ども支援センターとして、西浦小学校はうみらいく愛南として活用しているという実績があります。 確かに魚神山小学校もありますが、借手がなく活用のめどが立っていないのは、位置的なこともあるのではないかと思います。
増田委員長	ほかにありませんか。
稲田委員	この制度があると見たことがあったのですが、1泊の宿泊数延べ20泊以上というのは、例えば続けて20泊という意味ですか。
小松主幹	例えば宿泊者10人の場合、2泊以上延べ20泊以上で対象になります。 町外に向けた営業活動等を行っており、大学に誘致活動に出かけていますが、地元の方が情報をあまり御存じないと感じました。この合宿事業はとても好調で、今もあけぼのグラウンド

発言者	発言内容
濱総務課長	にアメフト部が来ています。 来る大学は新しいところもありますが、リピート率は高いと思います。というのも、費用も安いし、周りに誘惑がないので、合宿に打ち込みたい方々が好んで来てくれるというお話も聞きます。一方で、似たようなことをいろいろな市町もしている中で離れていく大学もあるのですが、一本松でいうと、あけぼのグラウンドのすぐ下に宿泊施設や温泉、ちょっとした買物もできるところもあるというところで、ニーズは高いのではないかと推測します。
増田委員長	ありがとうございます。 先ほども言われていましたが、町外には周知しているけど、私は知らなくて、愛南町民がもう少し知っていたら、自分の子供や孫など知り合いに教えてあげられるのではないかと感じたので、周知をどうにかしたら良いと思います。
高川委員	同じことを思いました。 一緒に催しをしたりという目的で来ているのではないのは分かりますが、地元交流として、練習試合を見に行ったり、小学生とボールを蹴ったり写真を撮ったり、触れ合う機会があれば、皆にアピールもできるし、子供たちも大きくなったらあそこのラグビー部に入ろうと希望を持つかもしれません。もう少し広げても良いかもしれませんね。
小松主幹	提案を実施するべきとして、提言するかしないかを伺うところですが、この提案は、実施済み、提言しないということによってよいのでしょうか。
濱総務課長	魚神山小学校については、グラウンドが非常に狭いためできるスポーツも限られます。更に位置的なことを加味すると、魚神山小学校に行くまでに、途中の便利の良い所にやはり行ってしまいがちなので、あそこに資金を投じるかということになると、町も二の足を踏んでしまうのが現状です。
狩野委員	昔のように本当に景気の良い時代だと、大きな会社が大抵ああいふ別荘地のような宿泊施設を持ちたがっていましたし、大

発言者	発言内容
	企業が夏休みに行ける場所のような感じで利用もできるのかなと思います。
高川委員	結構距離があるとか、リノベーションするお金がないというところもあるのかもしれませんが。 不便さをアピールして世間に広げて、上手に発信するのはどうでしょう。
徳川委員	皆さんのお話を伺って、おっしゃることももったなし、検討事項ということで提言に加えても良いかもしれないなと思います。 足摺の方の、もう使えなくなった施設をホテルにして、大手のチェーンをしているような会社が営業してうまくいっているという話を聞いたことがあります。何もない所でも、そこにビジネスチャンスがあると思えば、企業は使うでしょう。私は魚神山へ行ったことがないので分かりませんが、チャンスが全然ないわけではないという気はします。
稲田委員	愛南町だからこそ、海がきれいなど利点はあると思います。それを活用できるかどうかというのは予算が要ることですから、まずやってしまって、それでどうですかというのは難しいのかなと思います。追加提言、参考意見のような感じで出して、検討していただいても良いのかなと思います。 以上です。
高川委員	思い付きなのですが、稲田委員が言われたように、こんな所があるので何か良いアイデアはないですかと、ユーチューブなど若い人や皆が見るもので発信すれば、発想とかアイデアを売りにしているような会社の目に止まり、こういうふうに変化させたら良いとアイデアが寄せられるかもしれません。 合宿などは、自然などそのままの状態で、「そこにわざわざ行きたくなる場所」のような感じでアピールしたら良いと思います。
小松主幹	この合宿を目的とした誘致の提言については、実施済み、提言しないということで、廃校利用については、もう少し工夫して情報発信したら何らかの展開があるのではというコメントを

発言者	発言内容
	入れるということによろしいでしょうか。
委員一同	はい。
増田委員長	続きまして、委員提案2「児童館のような集える施設の整備」について、事務局説明をお願いします。
小松主幹	(担当課からの検討事項等説明)
増田委員長	事務局から説明ありました。 委員提案について、前回の意見、担当課の検討状況を踏まえて、何か御意見御質問はありませんか。 私からよろしいでしょうか。 昨日、城の辺学習館でイベントをさせていただきました。打合せで何度も城の辺学習館へ行ったのですが、小学生も普通に遊びに来ていました。学習館を知らなかった小さい子供を連れた人も、イベントに参加して場所も分かったと思うので、利用が広がるのではないかなと思います。 ほかの公園などの整備も大分進んでいるようで、私としてはもう提言しなくても良いのかなと思いますが、皆様の意見も聞きたいと思います。 城の辺学習館の遊び場は、外にはなく室内だけです。ソファや椅子もあって、そこでくつろぐことはできます。 少しずつ変わってきているなと思います。 自分が提言しておきながらですが、保健センターの遊具が設置されるというところと、城の辺学習館の空間づくりを進めているというところで、実施済み、提言しないということによろしいですか。
委員一同	はい。
増田委員長	続いて、委員提案3「きめ細やかな行政サービスの充実」について、事務局説明をお願いします。
小松主幹	(担当課からの検討事項等説明)
増田委員長	事務局から説明がありました。

発言者	発言内容
徳川委員	委員提案3について、前回の意見、担当課からの検討状況を踏まえて何か御意見御質問はありませんか。 模擬選挙は、もっと下に広げてほしいです。 あと、私の提案の書き方が至らない部分もあったと思うのですが、やはり道德教育というものをさせていただきたい。 愛南町に住んでいると大抵の人は良い人です。 高校まで愛南町にいて都会に出ると様々な人と出会うし、思いもよらないことも起こります。その際に道德教育や主権者教育をしっかり受けていれば自分で選んで対処できるようになると思います。子供の頃から、してはいけないことをきちんと教えてほしい、学んでほしい。自分がされて嫌なことは人にしてはいけないといった、基本的なことをきちんと教えてほしいのです。 人間とはこういうものだということも含めて、ある程度の教育の場でしていただきたいということがあります。現場の先生方がすごく疲弊しているというのは存じ上げているのですが、教師以外の方が、講師のような形で参加して、行政でやることもあるのではないのでしょうか。新しい町長が、教育長出身だということで、教育に関していろいろ新しいことをしていただけるのではないかなと期待したいですし、人づくりという意味で、是非考えていただきたいと思います。 愛南町という環境が人をよく育てるっていう部分があって、道を歩いていると擦れ違ったときに挨拶をしてくれる子もいます。こちらもすごく気持ちが良いし、子供たち本人も気持ち良く過ごしていると思います。 より良い人生を送るために、より良い学びをしていただきたいというのがあって、教育の現場でしていただけることはないかなというのがあり、その一環として選挙や道德など、いろいろ考える前段のお話として、主権者教育につきましてはここに記載しているとおりです。
濱総務課長	徳川委員がおっしゃるのは、生涯学習的な分野かと思います。 道德的な部分については、おそらく今も昔も、小学校で道德という時間があると思いますし、学んでいると思います。生涯学習いわゆる人生において、小学校のときにいろいろなことを学びましょうということも含め、生涯学習の面を強化するとい

発言者	発言内容
徳川委員	ったコメントを挿入するという解釈でよろしいでしょうか。 そうですね、人権教育も含めて。 子供の頃からじゃないとそういう面は育っていきません。自分がされて嫌なことは人にはしないと普通に考えて、してはいけないことはしてはいけないという、人づくりをしていただきたいです。基本的なことを身につけて、大人になったときに最低限、こういう選択をしてはいけないとか、こういう選択をするべきだとか、そういうものを判断できる人になってほしいのです。そのためには、子供の頃からしておかないと、年老いて習慣的にしているから大丈夫なんだという風になりません。 正しいことを選択できるんだという、素地をつくっていただきたいというのが、私が考えていることです。ただ先生の負担が大きいというのも、いろいろなところで聞いているのですが、それを補助的にできることもあるのではないかなって思い提案しました。
小松主幹	委員提案が制度周知であったり、主権者教育であったりというところに重点を置いて下の対応等を書いたのですが、お聞きしたところ、それよりも道德教育というところに重点が置かれているということなので、提案に対しましては、一部実施済み、提言しないとして、生涯学習、人権教育、道德教育等の人づくりの素地だったというところのコメントを添えるということでもよろしいですか。
狩野委員	県指定の人権教育が年に1回、愛南町に来ていますし、町内でも輪番で実施しています。お話を聞いていると道德教育や人権教育などということに関わるのかなと思うので、それに関しては愛南町はすごく進んでいます。それぞれの先生方の見識も高く、例えば朝いつも遅刻してくる子を叱りません。クラスの子たちも後から一人入ってきても、差別の目や厳しい目ではなくて、おはようと言って受け入れるのです。そういう素地を、ちゃんと先生方が作っています。だから、人権教育的にも子供を受け入れるし、素地みたいなものは育っていると思います。 子供なので、先生の目の届かないところでのいろいろないざこざやいじめ、けんかがあると思うのですが、その都度、学期に1回アンケートを取るなどして洗い出して、そういうことが

発言者	発言内容
	続かないようにはしています。愛南町の学校教育としては、提案のようなことはかなり進んで行われているように思います。 多分、気持ちの部分では分かっていたのではないのでしょうか。だから、これは提言という形で、細かいことを一つ一つ羅列していくのは無理だと思います。
小松主幹	広い意味で、気持ちは十分伝わってくるのですが、うまく文字化できるかどうかというところで、次の委員会の時に、提言の内容なども見ていただいて、そこで、修正いただければと思いますので、一部実施済みで提言しないというところで、生涯学習の人権教育や道徳、人づくりの素地などといったところにコメントを寄せたいと思います。
増田委員長	委員提案4「移住促進による人口減少対策」について、事務局説明をお願いします。
小松主幹	(担当課からの検討事項等説明)
増田委員長	事務局から説明がありました。 委員提案4について、前回の意見、担当課からの検討状況を踏まえて何か御意見御質問はありませんか。
高川委員	担当課の状況を踏まえて、知らなかったことがたくさんありました。これをいろいろな方に広めて、愛南町はすごいねということを広報していきたいと思います。
小松主幹	それでは、実施済みで、提言しないとして、町外に限らず愛南町民も、町の魅力をもっと知ることができるような広報をしてもらいたいとコメントを寄せたいと思います。
増田委員長	はい。ありがとうございました。 委員提案5「災害対策の充実」について、事務局から説明をお願いします。
小松主幹	(担当課からの検討事項等説明)
増田委員長	事務局から説明がありました。

発言者	発言内容
	委員提案5について、前回の意見、担当課からの検討状況を踏まえて何か御意見御質問はありませんか。
高川委員	回答により提言しないで良いです。
増田委員長	これは提言しないということによろしいですかね。
委員一同	はい。
増田委員長	ありがとうございます。 委員提案6「休耕田休耕地を増やさないための取組」について、事務局から説明をお願いします。
小松主幹	(担当課からの検討事項等説明)
増田委員長	事務局から説明がありました。 委員提案5について、前回の意見、担当課からの検討状況を踏まえて何か御意見御質問はありませんか。
狩野委員	この説明と回答を読んで、十分考えた上で推進していただいているのは分かりましたので、提案はしなくても良いのではないかと思います。
増田委員長	では、委員提案6は提言しないことにします。 以上で提案についての審議を終わりますが、全体を通して何か御意見はありませんか。
委員一同	(意見なし)
増田委員長	それでは(3)その他に移ります。 何か御意見等ありましたらお願いします。
委員一同	(意見なし)
増田委員長	以上でその他を終わります。これで、予定していました議事について全て終了しましたので、事務局にお返しします。

発言者	発言内容
小松主幹	御協議ありがとうございました。事務局から連絡します。 第3回の委員会は、9月中旬を予定しています。 以上で第2回行政改革推進委員会を終わります。皆様お疲れ様でした。